

第1学年 国語科 シラバス

◎中学校の国語科では…

国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる

ことを目標としています。

◎中学1年生の国語科では……

A 「話すこと・聞くこと」

自分のものの考えを持ち目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりしようとする態度を身につけさせるとともに、話し言葉に関心を持つ態度を育てます。

B 「書くこと」

様々な材料を基にして自分の考えをもち、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身につけさせるとともに、文章を書くことに慣れようとする態度を育てます。

C 「読むこと」

様々な分野の文章を読み、広い範囲から情報を得るとともに、効果的に活用する能力を身につけさせるとともに、読書の楽しさを理解し自己を向上させようとする態度を育てます。

☆本校ではこれらの目標を次の「学習計画」「評価の観点・評価の方法」「授業の特色」を基に達成をめざします。

原山中の国語科はこんな授業です！

様々な学習プリントを活用して、わかりやすい授業を目指します。

疑問、わからない点について気軽に質問できます。



自ら設定した課題について調べたり、作品を創作したり、様々な活動を取り入れて、国語力を高めます。

国文法については、替え歌で覚えたり、練習問題を繰り返したりします。

古典の学習の際、資料を見たり暗唱をしたりして、興味をもてるよう工夫します。

漢字や語句の基本的な知識の定着を目指します。

国語に関する関心・意欲

授業に意欲的に参加し、豊かな言語感覚を身につけようとしているか。

評価の観点

国語科では次の5つの観点で評価します。

書くこと

自分の立場を明確にし、具体的に書き表しているか。

話すこと・聞くこと

目的や場面に応じて、的確に話したり聞いたりしているか。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

古典や様々な文章を通じて文字や語句の知識や技能が身に付いているか。

読むこと

目的や意図に応じて文章の内容を正確に読み取れるか。

これらの観点を…

学習計画

期	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	・詩「ふしぎ」	・詩のリズムや工夫された表現技法に気づく。 ・春を題材とした他の詩を朗読する。
		・声を出そう／感想を伝え合おう	・二人一組でお互いの話を聞きあい、伝え合う。
	5	・電子レンジの発想	・文章の構成や表現の特徴を捉えて読む。
		・音を追いかけて	・登場人物の心情や行動の変化に着目し、作品の理解を深める。
		・古典の扉を開く ・竹取物語	・歴史的仮名づかいを知り、音読する。 ・現代と異なる意味をもつ言葉に注意し、古文の暗唱に挑戦する。
	6	・硬筆	・漢字と仮名の大きさ、字形に気をつけて、配置よく書く。
		・言葉の単位	・言葉の単位について理解する。
・体験したことを文章にする ・カメラが見つめたニューヨーク		・自分の体験を振り返り、随筆を書く。 ・題名を決め、時間の順序に沿って文章を書く。 ・言葉と写真の関わりを考える。	
7	・フリップを用いて報告する	・話の構成を考え、フリップを用いて報告する。 ・文末表現に注意して、事実と意見を区別して話す。	
	・蜘蛛の糸	・読書に適した本を見つける。	
2 学 期	9	・オツベルと象	・作品の構成や展開をとらえる。
		・ベンチ	・戦争とその背景について学び、作者の思いを読み取る。 ・本や文章から必要な情報を読み取る方法を身につける。
	10	・文の成分	・文の成分の役割について理解する。
		・笑顔という魔法	・自分自身の体験を元に、「笑顔の効力」について考える。
		・言葉がつなぐ世界遺産 ・河童と蛙	・筆者の問題提起と向き合い、言葉の果たす役割をとらえる。 ・情報を思い描きながら読む。
	11	・日本語の文字	・日本語の文字の特徴を理解する。
		・芸術作品の鑑賞文を書く	・根拠を明確にして書く。 ・心に残ったことを鑑賞文にする。
	12	・中国の名言	・訓読の仕方を知り、漢文特有のリズムを味わう。
		・行事案内を書く	・行事の案内に必要な内容や構成を理解する。 ・書いた文章をさまざまな観点から推敲する。
		・書き初め	・用紙の形や大きさに合わせ、文字の大小や字間、行の中心に気をつけて、配置よく書く。
・日本語の音声		・日本語の音声の特徴を知る。	
・四季の詩		・表現技法に込められた作者の物の見方、考え方をとらえる。	
3 学 期	1	・単語のいろいろ	・単語の分類の基準について理解する。
		・少年の日の思い出	・登場人物の心情変化に注意し、作品の主題を考える。
	2	・アイデア出して話し合う	・意図が正確に伝え合えるように話したり聞いたりする。
		・図表を用いて説明する	・目的にあった情報を選び、レポートの形式を踏まえて文章を組み立て、図表を示して書く。互いの文章を読み合う。 ・熟語を構成する「型」を知り、分類できるようにする。
	3	・熟語の構成	・目的にあった情報を選び、レポートの形式を踏まえて文章を組み立て、図表を示して書く。互いの文章を読み合う。
		・伝統文化と言語	・熟語を構成する「型」を知り、分類できるようにする。 ・「落語」、「月と古典文学」を読み、昔の人の思いに触れる。

学習計画は、実態に応じて変更になることがあります。
必要に応じて便覧・文法・漢字の副教材を使用します。

次の方法で評価します。	<p>国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的な参加 ・提出物 ・国語を学ぼうとする姿勢等で評価します。 	<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト・文法テスト ・定期テストの言語事項問題 ・書写等で評価します。 	<p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートやワークシートへの記入 ・詩・作文・感想文 ・定期テストの記述問題等で評価します。
	<p>話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言や聞き取り ・話し合いや発表・スピーチ ・音読・朗読・暗唱テスト等で評価します。 		<p>読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートやワークシートの内容 ・文章の読解に関する質問 ・定期テストの読解問題等で評価します。

